

## 学年通信のコラムを通した取組

—発信から双方向へ（ともに考える）—

(県立一宮北高等学校)

### 1 取組のねらい

本校では、定期的に学年通信を発行して、生徒や保護者へ学校行事の連絡や報告などをしている。学年通信はややもすると一方的な情報の発信になりがちだが、生徒との双方のコミュニケーションツールにできないかと考えた。

そこでコラム欄を設け、日常的な学校生活の出来事や社会問題などを取り上げて、生徒一人一人に考えさせるようにする。

さらに、それを読んだ生徒の感想や意見を掲載する。生徒は、他者の考えを共有することによって自らの考えを深めたり視野を広げたりすることができる。

### 2 具体的な取組

#### 【取組の基本的な流れ】

- ショートタイム等を利用して、学年通信を生徒に配付し、読む時間を作る。
- 内容に対する意見や感想を書かせる（自宅で書かせてもよい）。
- アンケート集約後、学年通信にまとめを掲載する。
- 集約した内容によってはホームルーム活動でのクラス討議やグループ討議を使う。
- 学年集会等での講話の題材にするなど、学年全体に還元できるようにする。

【学年通信の例】\*\*\*\*\*

前回命題としてみんなに考えてもらった結果は以下のとおりです。

模範解答はありません。各自で皆の意見や感想を読み、今後の生活に役立てて下さい。

#### 【前回の命題】

あなたは部活動の大会の日、寝坊をしてしまいました。今日は自分で電車を使い会場まで行かなければなりません。会場近くの歩道を歩いていると、車いすに乗った女性が前方で同じ方向へ向かっていました。歩道には自転車がたくさん駐輪しており、通行の邪魔になっていました。

そんな時、歩道の段差と止めてある自転車に阻まれて、車いすの女性は立ち往生てしまいました。  
それに気付いたあなたは…

- ①何もせず通り過ぎるまで待つ
- ②声をかける
- ③車いすを押してあげる
- ④空いている所を通り抜ける



[ 学年全体の結果 ]

	①	②	③	④	その他
男子	6%	45%	21%	25%	2%
女子	7%	54%	23%	16%	0%
合計	7%	49%	22%	21%	1%

困っているなら助けてあげたい。でも、その声をかける勇気や行動が出来るほど自分に強さがない…  
大会に遅れることは皆に迷惑がかかる…  
何もしなくても皆の気持ちの中ではさまざまな葛藤があるんだよね～

『相手の気持ちを確かめるためにとりあえず声をかける。』という人が多くいました。声をかける勇気をもっている人が多いことも大変素晴らしいことです。

①の回答者の意見

- 自分でやろうとしているのだから…見守っていることも大切だと思うし…
- 声をかける勇気がないから
- 部活優先！
- 声をかけることも出来ず、どうするともできないまま、車いすの方が通り過ぎるまで待っていそう。
- 誰かが丁寧に助けてくれそう。

『困っている』→『車いすを押しでげる』=『良いこと、当たり前』という純粋な回答が多くたったように思います。

③の回答者の意見

- 助けてあげるのはたいせつなこと。
- 困っている人を助けてあげることは当たり前。
- 大会に遅れても車いすの女性を手助けしていたと言ったら許してもらえそうだから。
- 何もせず通り過ぎるのは一生自分の心の中に『何での時助けなかったんだろう』と思うから。
- 日頃そういう行動をしていないと、いざという時に自分に返ってこないから。

②の回答者の意見

- 困っているかどうか分からなければ…
- 困っている人がいたら声をかけなければいけないと思うから。
- 自分も早く会場に行けるし、女性も通行出来て両者が得をするから。
- 早くして欲しいから。
- いきなり車いすを押すとなんか変だから、最初に声をかける。
- 実際に遭遇したら焦りながらも黙って自転車をどけますが…この選択肢からなら『②』を選びます。
- 方向が一緒なら押してあげる。逆の方向なら自転車をどけてあげる。
- 時間がないけど自分が今やりたいと思うことだから。後悔したくない。
- 自分も助けてもらった事がある。自分もそのように困っている人にはとりあえず声をかける。
- 人として当たり前だから。
- 自分が相手の立場だったら助けて欲しいから。
- そもそも、寝坊しなければ悩むことはなかったと思う。

④の回答者の意見

- 自分のことで精一杯。
- 助けないとだめかなあ～
- 部活優先！
- 試合に遅れると先輩や顧問に怒られる。
- 正直、本当に焦っていたら視界に入らないと思う。
- 急いでいるから、全く知らない人を助ける義務はない。
- 以前に同じような事に遭遇しました。知らない人に声をかける自信があまりないからだと思います。

『部活優先』『皆に迷惑が…』後ろ髪を引かれながらもやむを得ず…